



Die Eiche

Die Eiche ティ・アイ・エ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1 清和会第2ワールドナースングホーム

Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

2014年ビール祭り開催



二宮氏のリードにより全員で合唱



誕生日の挨拶をする岡崎氏

当協会のビール祭りは本場ドイツ (ミュンヘン郊外) より3週間程前に毎年実施しているが、今年もその線に沿って8月30日 (土) 東京・蔵前のビアレストラン「マイネクライネ」で過去最高の50名 (含む会友) が参加して開催された。このビール祭りの案内をするや、締切日を待たずして参加申し込みが50名となり、締め切り後の申し込みはお断りするという「今までに経験したことのないような」状態になった。このように参加申し込みが多かったのは、会場が隅田川の厩橋近くでドイツ風居酒屋ということ、貸切にしたので大好きなドイツの歌・ピアソングを誰に遠慮することなく、しかもピアニストの演奏・伴奏で楽しめることが大きな要因になったのではないかとと思われる。

会場には開宴2時間前から押しかけた会員もいて、開会宣言の10分前には満席となり、16:30から宗宮会長、臼井名誉会員のご挨拶、金谷専務理事の「Ein Prosit, ein Prosit, Der Gemütlichkeit～」の歌での乾杯の音頭でスタート。

美味しいミュンヘンのビール・レーベンプロイ、ドイツ白・赤ワイン等飲み、ドイツ料理を味わい、歓談も一息ついたところで、二宮理事の登場！ 同理事はドイツ国旗と同じ3色のチョッキを着用、ご自身で編集された歌集 (10曲) を基に3回程、全員を楽しめる合唱の世界に誘導。合唱の間にはピアニストの福さんがその場の雰囲気にあったBGM演奏を行い、まるでミュンヘンのビアホール「ホフプロイハウス」にいるかのようなようであった。

また、歓談が進むうち、会友の岡崎尋幸様が誕生日という事が判り、皆で「Happy Birthday」を歌ってお祝いをした。予期せぬ嬉しいことで、会も大いに盛り上がり、終わりに近づいた頃、店内が突然真っ暗になり停電。これも演出かと思われたが、そうではなくブレーカーが落ちた為と判明。暗闇の中でも福さんが沈着冷静にピアノ演奏を続けられたので、参加者も慌てず騒がず、その後店内の各テーブルに配られたローソク照明を久しぶりに楽しむ？ 余裕もあったようである。

停電というハプニングがあったものの、初めてビール祭りに参加された会員・会友の皆様にも楽しんで戴けたのではないかとと思われる。最後は橋口副会長が閉会のご挨拶をされ解散。参加者の皆様、受付・誘導等お手伝い戴いた役員、ピアノ演奏の福様本当に有難うございました。 (常任理事 須古正恒)

— 今後の主な催し物案内 —

1. 第 20 回ドイツ軍人慰霊祭

日時：11 月 16 日 (日) 11:00~12:00

場所：船橋市立習志野霊園 (JR 総武線津田沼駅北口よりバスで 15 分、「自衛隊前」下車。自衛隊正門に向かい左方向 50m の所で右折して徒歩 7 分。)

直会 (なおらい)：12:45~14:30

直会会費：2,500 円

今年はハンス・カール・フォン・ヴェアテルン駐日ドイツ連邦共和国大使にもご臨席頂く予定です。

申し込みは同封のはがきで 10 月 30 日必着。

2. 「ドイツ軍人慰霊祭」20 周年記念行事

鳴門市ドイツ館・板東俘虜収容所跡訪問研修旅行のお知らせ

日時：11 月 19 日 (水)~20 日 (木)

旅程：別送便参照

宿泊：ホテルサンシャイン徳島

費用：56,000~60,000 円 (参加人数により変動)

定員：30 名

申し込み締め切り：10 月 15 日 (水)

問い合わせ：須古常任理事 080-1139-8544

小野理事 043-277-3400

その他：詳細は別送便をご参照下さい。

3. 「ドイツ語講習会 “Lesen wir Märchen” 開催のお知らせ

1. 期間：11 月 10、17 日、12 月 1、8、15 日 (月)

2. 時間：18 時 10 分から 20 時 10 分

3. 場所：船橋中央公民館 (JR/京成船橋駅南口 5 分)

4. 講師：岡村三郎早大国際学術院教授・当会理事

5. 内容：童話 Der Löwe Leopold (Reiner Kunze 作) を読む

6. 教材：講師の訳注書 (白水社)

7. 参加料：会員 3,500 円、非会員 4,000 円
学生 2,000 円、初回に集金する。

8. 定員：40 名

9. 申し込み締め切り：11 月 3 日 (但し定員になり次第受付締め切り)

10. 申込先：澤井秀之宛 電話&FAX：043-257-5002

E-mail: yuki03@rk9.so-net.ne.jp

参加希望者の住所、氏名、電話番号、E-mail アドレス (あれば) を上記に連絡して下さい。

4. X'mas・忘年会 12 月 6 日 (土) (詳細 別紙)

◎アンケート「ドイツ人留学生受入れ」の結果

「千葉大学短期交換留学プログラム」で来日したドイツ人留学生との異文化交流の機会を得るためにと実施した標記アンケートには「お茶あるいは夕食に招待してもよい」17 名、「一泊」あるいは「一週間くらい泊めてあげてもよい」9 名、という回答がありました。大学側と相談の結果、ホームビジット (宿泊なし) は 11 月 29 日 (土) または 30 日 (日)、ホームステイ (一泊) は 1 月 17-18 日 (土、日) に行うことになりました。詳細は運営委員会で協議の上、近日中に該当者の方々にご連絡いたします。(会長 宗宮 好和)

＜デュッセルドルフ日文化交流育英会・同独日奨学財団による 2014 年度「Japaner leben」(日本体験)プログラム＞

期間：8 月 19 日~9 月 14 日

主題：「日本の国際化」レポートテーマとして日本の法律・政治制度、建築、ポップカルチャー交通システム、宗教、トヨタ生産システム等
研修生：女子 4 名、男子 2 名 (敬称略)

◎Lea Schulz Dievenow デザイン&クラフトアカデミー ガラス成形師◎Sonja Babel ハイネリッヒ・ハイネ大学修士課程・物理学◎Jana Börger ドルトムント工科大学学士課程・物流科学◎Arabella El-Ali フランツ&パートナー法律事務所法律専門職—以上、女性— ◎Andreas Degen EBZ ビジネススクール・不動産マネジメント専攻 日本のポップカルチャー ◎Benedict Diedrich コブレンツ大学・応用物理学電気技師 —以上、男性—

●引 率：Pia Tomoko Meid (マイトピア智子)

千葉県と友好関係にあるデュッセルドルフ市から派遣された奨学生達は来日 2 日目に森田健作知事らと歓談、サッポロビール工場 (船橋) などを見学後、当協会理事・伊東惇子さん宅 (船橋市) に招かれた。宗宮会長をはじめとする運営委員ら 12 人が出迎える中、日本の家庭に興味津津の様子。県から笹生健司・国際交流室長、新垣南帆・主事らも同行し、総勢 21 人が協会“迎賓の間”(リビングルーム)に顔を揃えた。宗宮会長は、研修生の訪問予定である徳島県板東と習志野の俘虜収容所に触れて「第一次世界大戦で日独両国には悲しい歴史があるように見えますが、実はドイツ人俘虜と住民の間に真に人間的な交流がありました」と述べ、伝統的な日本と、新しい日本をよく知っていただきたいと激励した。後、笹生室長の音頭で乾杯! 体格のいい奨学生たちは豪快にビールのコップを傾け、伊東さん母娘や橋口副会長の娘さんが腕を振った十数種の料理を、箸を器用に使いながら堪能。自己紹介では、奨学生が一人ずつ来日のテーマを熱心に語り、日本への関心の深さを示していた。圧巻は伊東さんが女性の奨学生のために特別に用意した“浴衣体験”。伊東さんらの着付け指導で好みの柄や帯でビシッと決め、大はしゃぎ。伊東師匠による即席のお点前指導にも神妙な表情。その後、会員と奨学生達はドイツ語、英語、日本語を交えて談笑が続き、2 時間の宴は終わった。

(理事 田中 正延)

